

G3 のツイッター その13

烈剛河内 竹井 保満

桜の花は咲きましたが、コロナウィルスの感染防止でお花見などと陽気に参りませんでした。自然は人間の喜怒哀楽に関係なくめぐります。枯れ草が芥になって土にこびりついていたものが、青々と芽を伸ばしてきました。カラスの豌豆やタンポポも花を咲かせて土筆も長く伸びてきて、園内の清掃員のおじさんは大童です。正月に食べる春の七草の話をしていると、介護士さんが寄ってきたので、「オオイヌフグリ」と名付けられた訳を知っているかと聞くと知らないと言うので、この花が実ると、犬の睾丸そっくりになると説明すると肩を引っ叩かれました。

変な名前の植物が沢山ありますが、今の人は、雑草として片づけますが、昔の人が良く観察して付けた名前が、私が助平な爺さんでは無いよと言い乍ら、臭い蔓だから「ヘクソカズラ」と名付けられました。切ると水が流れる出るので、「小便の樹」で、小さい刺が生えて触ると痛い葉っぱなので、憎い継子のお尻を拭く葉っぱで「継子の尻ぬぐい」です。これは実際に私が子供の頃によく遊んだ草で「秋の鰻つかみ」というタデ科の植物ですが、灌漑用の水路をせき止めて、この草を沢山刈り取って石で叩き鰻の居る穴の中に入ります。するとピリピリ辛い液体なので鰻が穴から出てきたところを捕まえたことなどを話しますと納得してもらいました。60年ものゼネレーションギャップがあると誤解や勘違いがあるのは当然でしょう。

コロナウィルスもますますの猛威を振るい中々収まりそうにもありません。4月4日の朝日新聞の一面にスペインの首都マドリードの記事です。病院からオスカル・アロンさんにお父さんに人工呼吸器はつけられませんので、若い人に回しますと父親の死の宣告が伝えられました。人の命を何を基準に決定するのか、誰に決定権が有るのか、これ程難しい事はないのではと思います。

コロナウィルスの予防の為に私どものジムも3月初めから休止しております。私の歳になりますと一か月筋トレを休むと急激に気力と体力が落ちます。昨年末に白内障の手術を受けて約一か月筋トレを休んだ時は、ベンチが65 kgから45 kgに落ちました。ジムの再開が一日も早くなることを待たれる今日この頃です。